

専任教員の教育・研究業績

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無		
体育学部	准教授	有吉 晃平				
<b>I 教育活動</b>						
教育実践上の主な業績		年月日 (期間)	概要			
1 教育内容・方法の工夫 (授業評価等を含む)						
学生による授業評価の実施			担当授業において学生による授業評価を実施し、授業の改善に努めた。			
2 作成した教科書、教材、参考書						
教員免許更新講習テキストの作成		平成30年1月	更新講習テキストのうち、「学校体育現場およびスポーツ現場における安全の確保」項の作成			
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等						
日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会 講師		平成27年3月	日本体育協会公認スポーツリーダー養成講習会にて「スポーツ医学」の項を担当した			
OSAKAスポーツ大学 講師		平成27年10月	OSAKAスポーツ大学の1コマとして「スポーツ活動中に多いケガとその予防 ～下肢編～」をテーマに講義を行った			
関西学生バドミントン連盟「First AID講習会」講師		平成28年5月	関西学生バドミントン連盟加盟校を対象に、救急講習を行った。			
大阪体育大学 体力若返り講座 講師		平成28年10月	体力若返り講座の1コマとして「トレーニングのウツ・ホント」をテーマに講義を行った			
大阪体育大学 体力若返り講座 講師		平成29年11月	体力若返り講座の1コマとして「心肺蘇生法とAED」をテーマに実技講習を行った			
教員免許更新講習		平成30, 31年1月	教員免許更新講習の1コマとして「学校体育現場およびスポーツ現場における安全の確保」をテーマに講義を行った			
日本バドミントン協会公認上級コーチ・コーチ義務研修会 講師		平成30年, 令和元年	「トレーニング・コンディショニングの再考」をテーマに講義を行った (8月・2月)			
大阪高等学校体育連盟バドミントン専門部 指導者講習会		令和2年2月	大阪府下の高校バドミントン部の指導者及び生徒を対象に、バドミントン競技に関するトレーニング講習会を行った。			
4 その他教育活動上特記すべき事項						
大阪体育大学校友会 部活動向け救急講習 講師		平成28年7月	大阪体育大学校友会所属クラブの代表者を対象に「クラブ活動時におけるスポーツ事故発生時の緊急対応計画」というテーマで学内の緊急対応に関する講習を行った			
大阪体育大学校友会・スポーツ科学センター共催 部活動向け救急講習 講師		平成29年4月	大阪体育大学校友会所属クラブの代表者を対象に「クラブ活動時におけるスポーツ事故発生時の緊急対応計画」というテーマで学内の緊急対応に関する講習を行った			
大阪体育大学新入生オリエンテーション 救急講習 講師		平成30年4月	大阪体育大学新入生を対象に「スポーツ事故発生時の緊急対応計画」というテーマで学内の緊急対応に関する講習を行った			
<b>II 研究活動</b>						
著書 (単著)						
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月	
著書 (共著・分担執筆)						
題目/書名	著者/編者	初(始)頁～終頁	発行所	発行地	発行年月	
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
大学女子バドミントン競技におけるラリー時間に関する研究	有吉晃平	九州共立大学紀要	第4巻第2号	1頁～6頁	平成26年3月	
パラスティックストレッチングがスプリントタイムに及ぼす影響	有吉晃平、玉城祐、辰見康剛	九州共立大学紀要	第5巻第2号	69頁～74頁	平成27年3月	
Effect of 30 s of static active stretching on anaerobic power using the Wingate test.	Oshita K., Yamaguchi K., Ariyoshi K.	Movement, Health & Exercise,	No. 5	23頁～29頁	平成28年1月	
スタティックストレッチングによって生じる筋力低下とその回復時間	有吉晃平、辰見康剛、宮川俊平	日本臨床スポーツ医学会誌	第24巻第2号	220頁～225頁	平成28年5月	
総説						
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)						
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月
症例報告	九州共立大学リコンディショニンググループ利用者報告	共 井手裕子、藤井均、有吉晃平、篠原純司	九州共立大学紀要	第3巻第2号	89頁～93頁	平成25年3月
症例報告	実施経験のない筋力トレーニングの写真提示による鍛錬部位認識について：バックスクワットを例とした調査	共 大下和茂、萩原悟一、門間貴史、津野天兵、有吉晃平 他	体力科学	65(4)	421頁～429頁	平成28年4月
症例報告	2016年度大阪体育大学スポーツ科学センター活動報告	共 渡邊有実、前島悦子、足立哲司、有吉晃平、石川昌紀 他	大阪体育大学紀要	48巻	125頁～136頁	平成29年3月
症例報告	大学クラブ活動生における「一次救命処置」及び「緊急時対応計画」の学習経験に関する調査	共 有吉晃平、藤井均、川島康弘、中山健、曾根裕二、陳洋明	大阪体育大学紀要	50巻	103頁～112頁	平成30年3月

症例報告	平成29年度大阪体育大学アスレティックトレーニングルーム利用報告	共	有吉晃平、藤井均、梅林薫、松木仁志	大阪体育大学紀要	50巻	147頁～154頁	平成30年3月
症例報告	救急体制の充実に向けた学内運動施設の安全管理に関する取り組み～救急車要請ルート、AED設置場所の検証～	共	有吉晃平、藤井均	大阪体育大学紀要	51巻	35頁～48頁	令和2年3月

学会発表（「国際学会」、「国内学会（一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等）」、「研究会」等区分を記入）

区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名
国内（一般演題）	平成25年9月	九州体育・スポーツ学会 第62回大会	大学女子バドミントン競技におけるラリー時間に関する研究	九州共立大学	有吉晃平
国内（一般演題）	平成25年12月	NSCAジャパン S&Cカンファレンス2013	一過性の自動的な静的ストレッチが無酸素性パワーに及ぼす影響について	京都文教短期大学	大下和茂、有吉晃平
国内（一般演題）	平成26年7月	第3回日本アスレティックトレーニング学会	アスレティックリハビリテーションに対する専心度を高めるためにATによる心理的支援に着目して	名古屋国際会議場	辰見康剛、有吉晃平、坂口尚希
国内（一般演題）	平成26年7月	第3回日本アスレティックトレーニング学会	スタティックストレッチングによって生じる筋力低下とその回復時間	名古屋国際会議場	有吉晃平、辰見康剛、宮川俊平
国際	平成26年8月	第7回アジア南太平洋スポーツ心理学会	Relationship between physical and psychological fatigue and weight reduction in University rugby players	国立オリンピック記念青少年総合センター	辰見康剛、有吉晃平 他
国内（一般演題）	平成26年9月	第69回日本体力医学会大会	ダイナミックストレッチングにおける伸張強度の違いがパワー・柔軟性に与える影響	長崎大学	有吉晃平、辰見康剛、宮川俊平
国内（一般演題）	平成27年7月	第4回日本アスレティックトレーニング学会	心理的側面からみた負傷アスリートに対してATが考慮すべきことーエリートアスリートにおける事例をもとにー	流通経済大学	辰見康剛、栗谷健礼、坂口尚希、有吉晃平
国内（一般演題）	平成27年9月	第70回日本体力医学会大会	ダイナミックストレッチングの実施方法に関する実態調査	和歌山県民文化会館	有吉晃平、辰見康剛、大下和茂、宮川俊平
国内（一般演題）	平成27年9月	第70回日本体力医学会大会	スクワット未経験者におけるスクワットの動員部位意識	和歌山県民文化会館	大下和茂、萩原悟一、門間貴史、津野天兵、小泉和史、大山泰史、有吉晃平、山口恭平、田代智記、船津京太郎
国内（一般演題）	平成27年11月	日本スポーツ心理学会第42回大会	アスレティックリハビリテーション実施時の動機を高めるためにー指導者及びトレーナーとの関わりに着目してー	九州共立大学	辰見康剛、有吉晃平 他
国際	平成29年1月	The 5th NSCA International Conference	動的ストレッチングにおける実施テンポの違いがパワー・柔軟性に与える影響	幕張メッセ国際会議場	有吉晃平、大下和茂
国際	平成30年7月	ECSS Congress 2018	Acute effects of different forward leg swing tempos on flexibility and jump performance.	Dublin	K, Ariyoshi.
国内（一般演題）	平成30年11月	日本学校保健学会第65回学術大会	大学クラブ活動生における1次救命処置に関する学習状況と「緊急時対応計画」教育の必要性	大分	有吉晃平、藤井均、川島康弘 他
国際	令和元年7月	ECSS Congress 2019	The relationship between foot-ground contact position and muscle activity in leg press	Prague	K, Ariyoshi.
国内（一般演題）	令和元年11月	日本学校保健学会第66回学術大会	救急体制の充実に向けた学内運動施設の安全管理に関する取り組み～救急車要請ルート、AED設置場所の検証～	大分	有吉晃平
国内（シンポ）	令和3年3月	日本バドミントン学会 第4回学会大会	COVID-19感染予防対策下での大会実施に向けた取り組み	オンライン開催	有吉晃平
国内（一般演題）	令和3年3月	日本バドミントン学会 第4回学会大会	大学バドミントン競技におけるBチーム団体リーグ戦の試み	オンライン開催	有吉晃平、喜多 努、胡山 喬

科学研究費等の取得状況

科学研究費／その他の助成金／外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の別	期間	助成額（期間内の総額）

特許

特許名称	発明者／出願人	出願日／出願番号	公開番号	取得した場合 →	公告・特許番号	国

### Ⅲ 加入学会および社会における活動

期 間	内 容
加入学会	
平成20年4月～現在	日本体力医学会 会員
平成23年6月～平成30年3月	全日本鍼灸学会 会員
平成25年6月～現在	日本アスレティックトレーニング学会 会員
平成25年8月～現在	日本臨床スポーツ医学会 準会員
平成30年4月～現在	日本バドミントン学会 会員
令和3年3月～現在	日本バドミントン学会 理事

社会的活動	
平成28年4月～令和2年3月	関西学生バドミントン連盟 執行役員
令和2年4月～現在	関西学生バドミントン連盟 副会長
令和2年4月～現在	関西学生バドミントン連盟 事務局長
平成28年4月～平成30年3月	大阪学生バドミントン連盟 副会長
平成30年4月～現在	大阪学生バドミントン連盟 会長
令和2年4月～現在	大阪府バドミントン協会 理事
平成29年4月～現在	全国体育スポーツ系大学協議会（JPSU）スポーツトレーナー 集合講習運営委員
令和3年2月～現在	日本スポーツ協会公認アスレティックトレーナー関西連絡会 理事

#### IV 管理活動

期 間	内 容
委員会活動	
特別プロジェクト活動	

#### V クラブ活動の指導業績

1. 指導クラブ名	バドミントン 部	2. 役職	2015～監督	3. 部員数	34 人
4. 現場指導の頻度	② ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	2 回	延べ日数：	7 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取組んでいる ②ある程度取組んでいる ③あまり取組んでいない ④全く取組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
	関西学生春季リーグ	5月上旬	大阪市中央体育館 他		
	関西学生バドミントン選手権大会	6月中旬	大阪市中央体育館 他		
	西日本学生バドミントン選手権大会	8月下旬	西日本地区で年ごとに担当		
	関西学生秋季リーグ	9月中旬	大阪市中央体育館 他		
	関西学生新人戦大会	11月中旬	大阪市中央体育館 他		
	大阪学生バドミントン選手権大会（団体の部）	12月上旬	東淀川体育館 他		
	大阪学生バドミントン選手権大会（個人の部）	2月下旬	東淀川体育館 他		
10. クラブ戦績	（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）				
開催期間	大会名	成績	場 所		

#### VI 賞罰（職務に関する賞罰）

年 月	受賞等機関名	内 容	備 考